指定管理者施設の管理運営状況評価（モニタリング）シート（平成30年度事業分）

1　施設の概要

施設名	山梨県芸術の森公園	所管課	教育委員会　学術文化財課
所在地	甲府市貢川1-4-27	設置年月日 （改築年月日等）	平成元年11月2日
管理方式	SPS・桔梗屋グループ		
設置根拠 （法律、条例等）	都市計画法、都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与する。		
主な施設内容 （定員等）	○敷地面積 6ha ○施設の内容 ・野外研修施設　・茶室　・日本庭園　・バラ園　・広場　・園路 ・緑地　・彫刻等		
主な業務内容	(1)施設の利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務		

2　類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	同規模の公園は県内各地にある。 ただし、当公園は美術館・文学館と一体となり、芸術の森公園を形成しており、このような性格を持つ公園としては唯一のものである。

3 利用状況

単位：人、％

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度（目標値）
利用者数	利用者数	476,804	463,801	494,634	
	利用者数合計	476,804	463,801	494,634	
	目標値	508,000	510,500	513,000	472,000
	目標値設定の考え方及びその理由	美術館・文学館（茶室等公園施設利用者を含む）の入館者総数			
	対28年度比		97.3%	103.7%	99.0%
利用率					

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、％

		平成29年度	平成30年度（計画値）	平成30年度（実績値）	令和元年度（計画値）
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	24,535,000	23,683,660	23,683,660	16,039,489
	その他	401,649	336,960	480,240	360,486
	収入合計（A）	24,936,649	24,020,620	24,163,900	16,399,975
支出	人件費				
	県への納付金				
	管理運営費	24,376,945	24,020,620	23,561,312	16,399,975
	うち外部委託費（B）	20,878,560	20,878,560	20,163,900	13,877,880
	支出合計（C）	24,376,945	24,020,620	23,561,312	16,399,975
収支差額（A-C）		559,704		602,588	
外部委託比率（B÷C）		85.6%	86.9%	85.6%	84.6%
利用者一人当たりの経費		52.9		47.9	

5　利用者満足度（アンケート様式は別添のとおり）

実施方法等	芸術の森公園のみを対象としたアンケート調査は実施していない。

単位：%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設全般の満足度				

利用者の意見	
利用者の意見への対応	

６ 評価結果

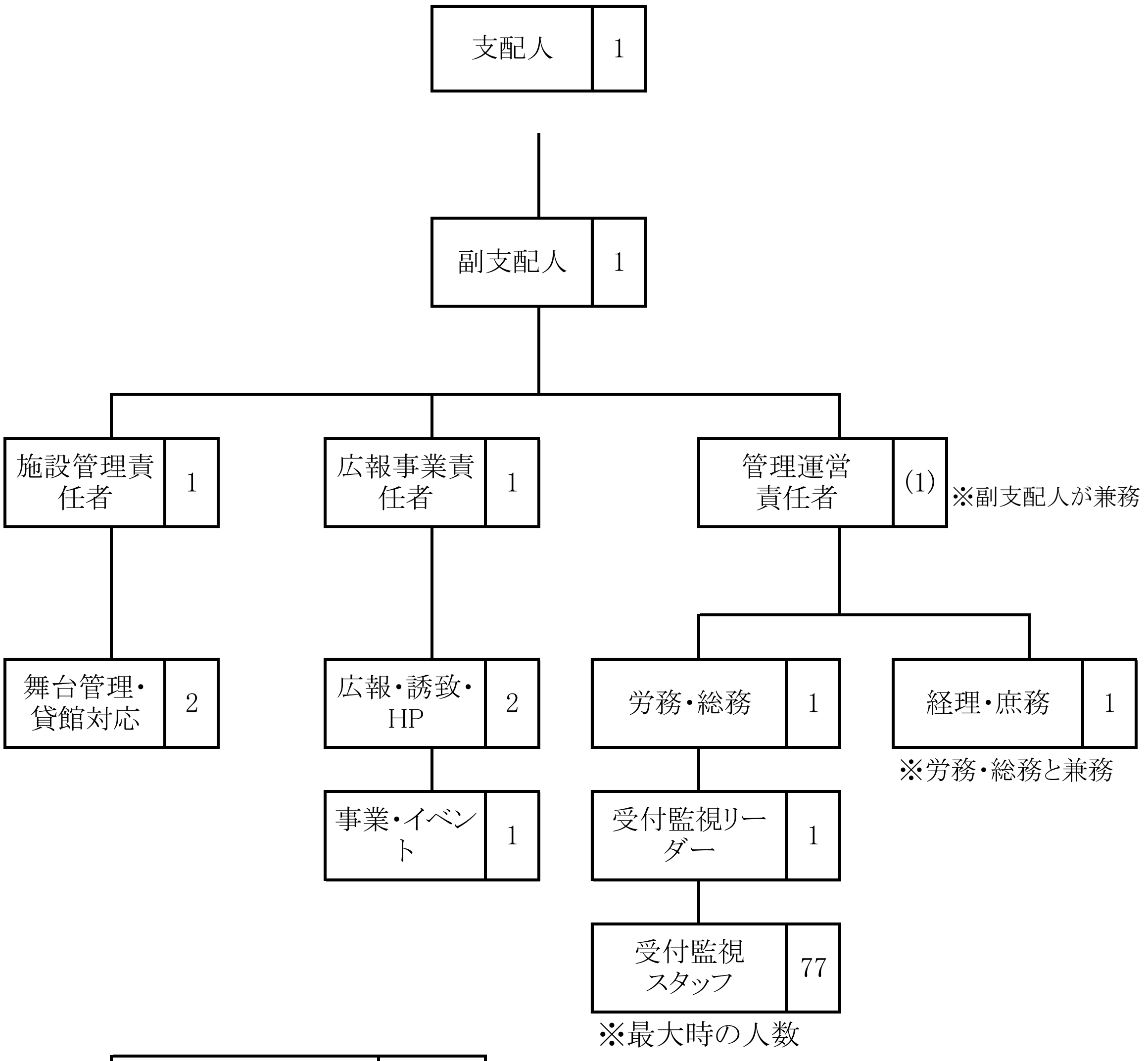
	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	指定管理者業務仕様書に基づき年間計画を立案し実施した。法令遵守を前提に、専門業者に委託し、保守点検、警備、清掃等維持管理を効果的に行った。 また、台風24号における倒木撤去や伐採など、県直営部門と調整を密に行い即時対応するなど、安心安全な管理を実施することができた。	業務仕様書・業務計画書に基づき、適正に実施されていた。 台風24号による公園内の倒木除去などにあっては、休館日であっても迅速に対応するなど、利用者が安全かつ安心して公園を利用できるよう業務を遂行した。
運営業務	業務計画書に基づき経験や知見豊かな職員を配置し、円滑な運営を行うとともに、入園者や近隣住民からの要望にも柔軟に対応した。バラと菖蒲が見ごろの季節には、県内報道機関へのリリースを配信し、取材につなげるなど、「公園」も楽しめる施設としての広報を行った。 また、突発的に発する事項には、館内で十分調整した上で進めるなど、館一体となり運営業務に取り組むことができた。	業務仕様書・業務計画書に基づき、適正に実施されていた。
利用状況	「ミュゼ・マルシェ」や「県民の日」の大型イベントに加え、春のゴールデンウィークイベントや夏まつりイベントなどを積極的に行うことで、ファミリー層等の利用を増加させることができた。	「ミュゼ・マルシェ」などの県民が集うものから「野外彫刻探検ツアー」などの参加型のものなど幅広い層をターゲットにしたイベントを開催し、利用者の増加に努めた。 今後も、積極的にイベントを展開していくと共に園内の植物の開花風景なども報道機関を通じて発信し、来園者の増加に努めていただきたい。
収支状況	公園内通路や建物（さんさん広場やこだま広場など）のレンガ材損傷について修繕を行い、安全や美観の維持に努めた。日ごろコストコントロールのため止めている噴水は、光熱水費を管理しながら7月、8月、9月の土日祝日に稼動させた。 来園者の安全確保及び憩いの場を提供するなかで、経費の節減に努めた。	光熱水費の上昇など管理コストの厳しいなか効率的な施設管理を行っている。 今後もより一層の効率化を進め、経費縮減に努めるとともに、来園した皆さんに憩いの場を提供していただきたい。
自主事業		
利用者満足度		

運営目標の達成状況	業務仕様書等に示された業務を適切に実行。また芸術の森公園を利用して自主事業を開催。野外彫刻たんけんツアーは8ヶ月間で95回を実施しリピータも増えている。毎年恒例となっている「ミュゼ マルシェ」は芸術の森公園の賑わいの創出につながっている。

施設所管課による総合的な評価及び指導事項	県直営部門と連携し、経費の削減を実施するなど、効率的な運用管理を行っている。台風24号による公園内の倒木除去などにあっては、休館日であっても迅速に対応するなど、利用者が安全かつ安心して公園を利用できるよう業務を遂行した。 利用者からの声を受けて公園内の植栽の伐採、間引き等を実施し公園整備に努めたことや、ファミリー層をターゲットとしたイベントを季節毎に開催するなど、利用者増加に積極的に取り組んでいる。 今後は、直営部門と連携を深めつつ、新たな利用者の獲得をなお一層積極的に行い、総観覧者数目標の達成につながるように努力してほしい。 近年、土・日など駐車場が満車となって公園が利用できないケースの発生に際し、近隣県営施設の駐車場を臨時に借り上げるなどの対策を講じてはいるが、更なる対応策を検討していただきたい。
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	H30年度は猛暑と台風24号が公園管理に大きな影響をもたらせた。特に台風24号については倒木やそれに伴う枝葉が近隣住宅へ飛んでいくなどがあり、県直営部門と共有・調整しながら即時対応した。 運営面においては、四季折々に園内各所で見ごろを迎える草花の開花状況を県内報道機関に伝え、取材につなげたり、SNSを活用して独自の情報発信をおこない、利用者増に繋げた。地元に定着してきている「ミュゼ・マルシェ」や「県民の日」についても、内容の工夫を一部行いながら継続実施し、利用者確保に貢献した。 大規模イベント開催時などの駐車場問題については、まず館内にて県直営部門とイベント開催日時のバッティングが無いよう、スケジュール確認をこまめに行うこと、近隣駐車場事情の共有と確保、実際の混雑時にはHPやSNSも活用して混雑状況を告知して利用日調整や、公共交通機関の利用を促すなどの対応を行った。今後の更なる対応に関しては、県直営部門と連携して。取り組んでいく。

7　管理体制（組織図）

平成30年4月1日現在



支配人	1 人
副支配人	1 人
責任者	2 人
事務室スタッフ	6 人
受付監視リーダー	1 人
受付監視スタッフ	77 人
合計	88 人